

出水時での浸水センサ活用事例

設置管理者：山形県庄内町（株式会社テイデイイー）

< 出水イベントの概要 >

- ・ 浸水発生の年月日時：2025/9/3
- ・ 浸水の原因となった事象
9/3 1時以降の降雨によるものと推測される。
- 9/3 2時には狩川観測所で27.0mm/hの降雨量
櫛引観測所で48.0mm/hの降雨量を記録している。

センサ設置箇所はちょうど支流の合流地点であるため、上記の2つの観測所で観測された雨水が時間差で集まり、京田川水位が上昇したと考えられる。

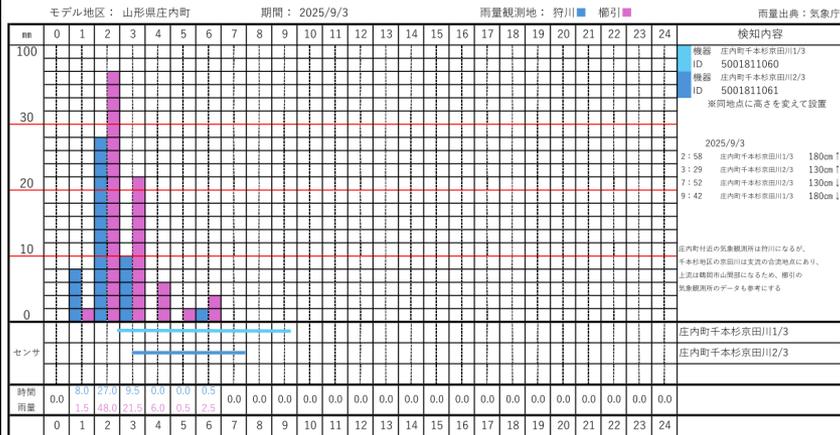
- ・ 社会的影響
- ・ 浸水を検知したセンサのID：
...庄内町千本杉京田川 1/3 (G L -180cm)
ID:5001811060
...庄内町千本杉京田川 2/3 (G L -130cm)
ID:5001811061

- ・ センサ情報の活用事例
近隣の自治会にセンサ情報をメールで共有。
今年度よりの設置のため、今回のデータを踏まえ、今後の活用を検討中。

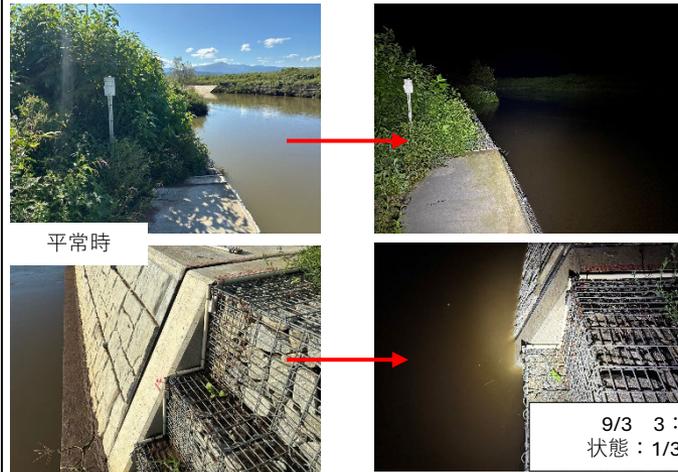
< 浸水センサ反応状況（位置図、表示システム画面） >



< 浸水センサ反応状況（時系列のグラフ・表等） >



< 浸水時の補足情報（写真、SNS等） >



出水時での浸水センサ活用事例

設置管理者：秋田県能代市（株式会社テイデイイー）

< 出水イベントの概要 >

- ・ 浸水発生の年月日時：2025/8/5
- ・ 浸水の原因となった事象
8/5 3時以降の降雨によるものと推測される。
- 8/5 4時には40.5mm/hの降雨量を記録している。

・ 社会的影響

- 床下浸水5棟
- 床上浸水なし
- 非住家浸水10棟

・ 浸水を検知したセンサのID：

右側の図を参照

・ センサ情報の活用事例

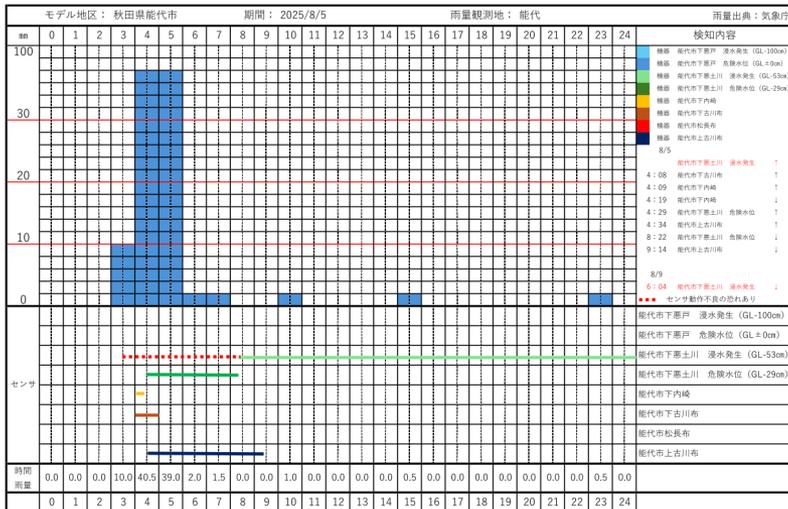
災害対応のスイッチが入るきっかけとなったセンサの位置に達したことは把握できるが、その後の水位がわからないため赤外線カメラと併用案があった
貴重な情報の一つであった
浸水している間、数分おきにメール通知がきたが浸水感知時と浸水解消時のみでののでは
メール文からワンタッチで浸水場所のマップへ移動することができたらより便利

機器	能代市下瀬戸	浸水発生 (GL-100cm)
ID:	5001811027	
機器	能代市下瀬戸	危険水位 (GL=0cm)
ID:	5001811028	
機器	能代市下瀬土川	浸水発生 (GL-53cm)
ID:	5001811029	
機器	能代市下瀬土川	危険水位 (GL-29cm)
ID:	5001811030	
機器	能代市内崎	
ID:	5001812001	
機器	能代市下古川布	
ID:	5001812002	
機器	能代市松長布	
ID:	5001812003	
機器	能代市上古川布	
ID:	5001812004	

< 浸水センサ反応状況（位置図、表示システム画面） >



< 浸水センサ反応状況（時系列のグラフ・表等） >



< 浸水時の補足情報（写真、SNS等） >

出水時での浸水センサ活用事例

設置管理者：秋田県能代市（株式会社テイデイイー）

< 出水イベントの概要 >

- ・浸水発生の年月日時：2025/8/20
- ・浸水の原因となった事象
8/20 12時以降の降雨によるものと推測される。
8/20 19時には33.0mm/hの降雨量を記録している。

- ・社会的影響
床下浸水26棟
床上浸水2棟
非住家浸水23棟

- ・浸水を検知したセンサのID：
右側の図を参照

・センサ情報の活用事例

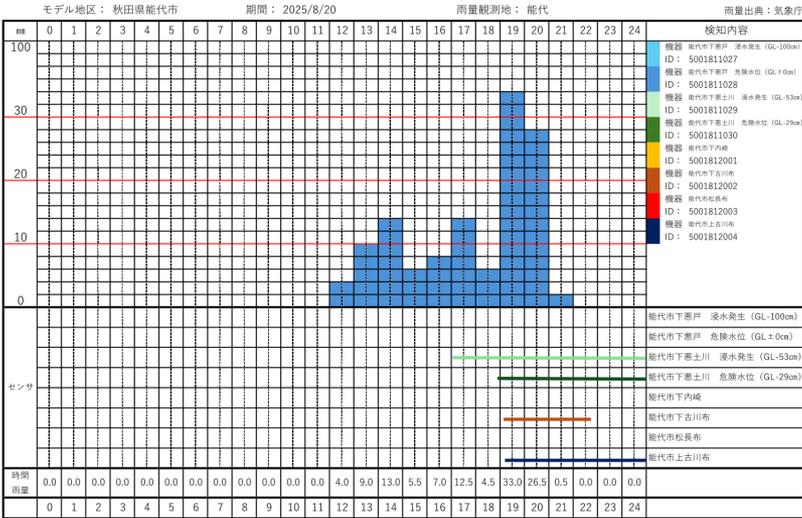
災害対応のスイッチが入るきっかけとなったセンサの位置に達したことは把握できるが、その後の水位がわからないため赤外線カメラと併用案があった
貴重な情報の一つであった
浸水している間、数分おきにメール通知がきたが浸水感知時と浸水解消時のみでののでは
メール文からワンタッチで浸水場所のマップへ移動することができたらより便利

機器	能代市下瀬戸	浸水発生 (GL-100cm)
ID:	5001811027	
機器	能代市下瀬戸	危険水位 (GL+0cm)
ID:	5001811028	
機器	能代市下瀬土川	浸水発生 (GL-53cm)
ID:	5001811029	
機器	能代市下瀬土川	危険水位 (GL-29cm)
ID:	5001811030	
機器	能代市下内崎	
ID:	5001812001	
機器	能代市下古川布	
ID:	5001812002	
機器	能代市松長布	
ID:	5001812003	
機器	能代市上古川布	
ID:	5001812004	

< 浸水センサ反応状況（位置図、表示システム画面） >



< 浸水センサ反応状況（時系列のグラフ・表等） >



< 浸水時の補足情報（写真、SNS等） >

出水時での浸水センサ活用事例

設置管理者：秋田県能代市（株式会社テイデイイー）

< 出水イベントの概要 >

- ・ 浸水発生の年月日時：2025/9/2～9/4
- ・ 浸水の原因となった事象
9/2 6時以降の降雨によるものと推測される。
9/2 7時から9時頃までに30.0mm/h以上の降雨量を断続的に記録している。

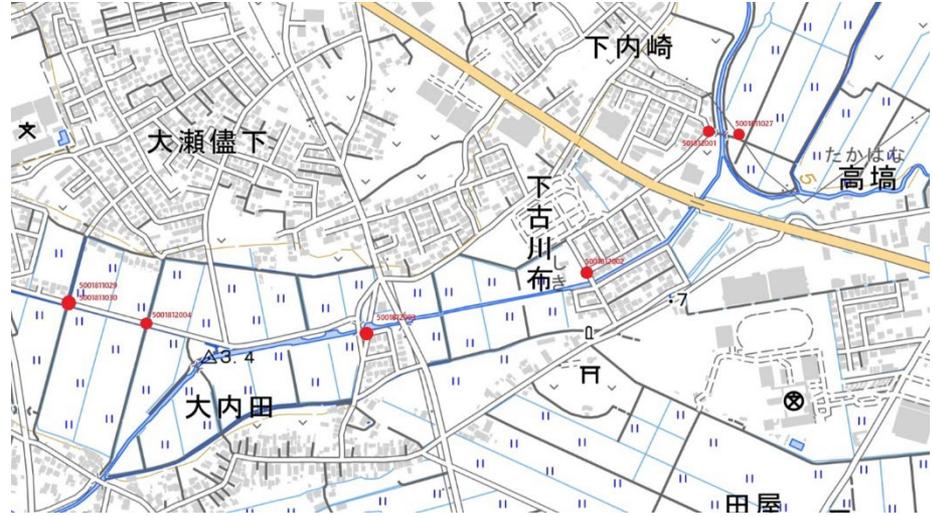
- ・ 社会的影響
床下浸水112棟
床上浸水18棟
非住家浸水164棟

- ・ 浸水を検知したセンサのID：
右側の図を参照

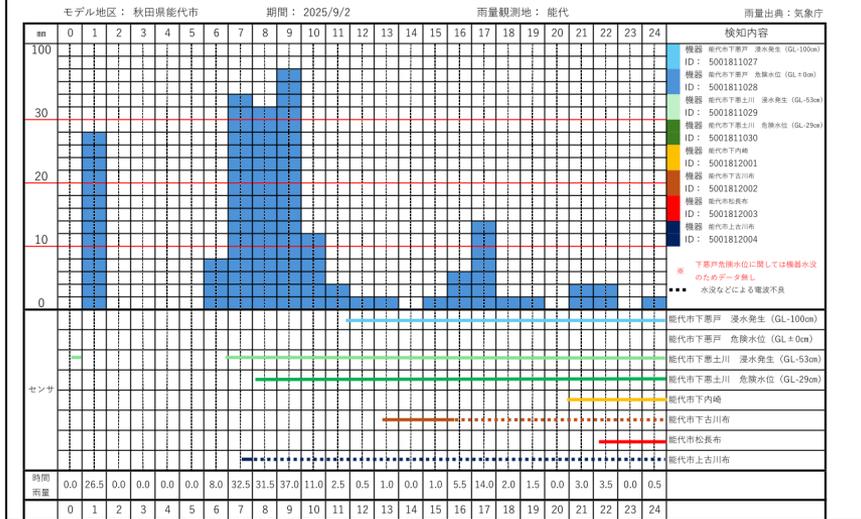
- ・ センサ情報の活用事例
災害対応のスイッチが入るきっかけとなった
センサの位置に達したことは把握できるが、その後の水位がわからないため赤外線カメラと併用案があった
貴重な情報の一つであった
浸水している間、数分おきにメール通知がきたが浸水感知時と浸水解消時のみでは
メール文からワンタッチで浸水場所のマップへ移動することができたらより便利

機器	能代市下郷戸	浸水発生 (GL-100cm)
ID:	5001811027	
機器	能代市下郷戸	危険水位 (GL±0cm)
ID:	5001811028	
機器	能代市下郷土川	浸水発生 (GL-53cm)
ID:	5001811029	
機器	能代市下郷土川	危険水位 (GL-29cm)
ID:	5001811030	
機器	能代市下内崎	
ID:	5001812001	
機器	能代市下古川布	
ID:	5001812002	
機器	能代市松長布	
ID:	5001812003	
機器	能代市上古川布	
ID:	5001812004	

< 浸水センサ反応状況（位置図、表示システム画面） >



< 浸水センサ反応状況（時系列のグラフ・表等） >



< 浸水時の補足情報（写真、SNS等） >



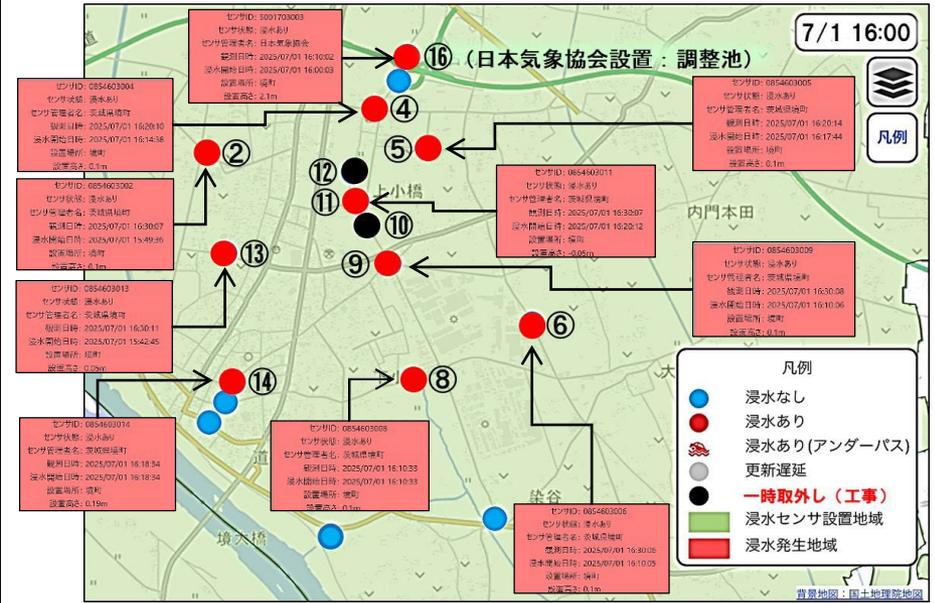
出水時での浸水センサ活用事例

設置管理者：茨城県境町

<出水イベントの概要>

- 1 浸水発生の年月日時**
令和7年7月1日（火）15:30 ~ 17:30
- 2 浸水の原因となった事象**
ゲリラ豪雨（16:47「**記録的短時間大雨情報**」発表）
- 3 社会的影響**
道路冠水が13箇所（※1）発生（約2時間）
※1：うち3箇所はセンサ未設置箇所
- 4 浸水を検知したセンサの数及びID**
 - ・ 感知箇所10箇所（日本気象協会設置（16）を含む）
 - ・ センサID：085460302~085460316（※2）、5001703003（※2：③、⑦、⑩、⑫（⑩、⑫は工事で取外中）を除く。）
- 5 センサ情報の活用事例**
センサの感知の情報を元に道路冠水箇所を把握し、通行止めや通行注意看板等を設置

<浸水センサ反応状況（位置図、表示システム画面）>



<浸水センサ反応状況（時系列のグラフ・表等）>

降雨時間帯：15:30~17:00
累加雨量：71mm

16:47 記録的短時間大雨情報

区分	15:00	16:00	17:00	18:00
NO 2	延61分	15:49	16:50	
NO 4	延27分	16:14	16:41	
NO 5	延14分	16:17	31	
NO 6	延46分	16:10	16:56	
NO 8	延27分	15:58	04 10 16:31	
NO 9	延34分	16:09	16:43	
NO11	延74分	16:19	17:33	
NO13	延72分	15:42 49 16:06	17:00	
NO14	延 7分	16:18	25	
NO16	延20時間	15:51	(境古河IC調整池)	7/2 12:09

<浸水時の補足情報（写真）>



出水時での浸水センサ活用事例

設置管理者：兵庫県三田市

< 出水イベントの概要 >

- ・ 浸水発生の年月日時：令和7年7月8日 14時半～
- ・ 浸水の原因となった事象：局地的大雨によるアンダーパスの冠水

・ 社会的影響：

大雨・洪水警報発令から約3時間にわたり局地的な大雨。
1時間の観測雨量が観測史上最大の93mmを観測。
市内アンダーパス4か所で冠水による通行止め、病院の入り口の一部で浸水等が発生。
三田駅の雨量計が規制値に達したため、JR西日本では宝塚-篠山間で一時運転見合わせを実施。

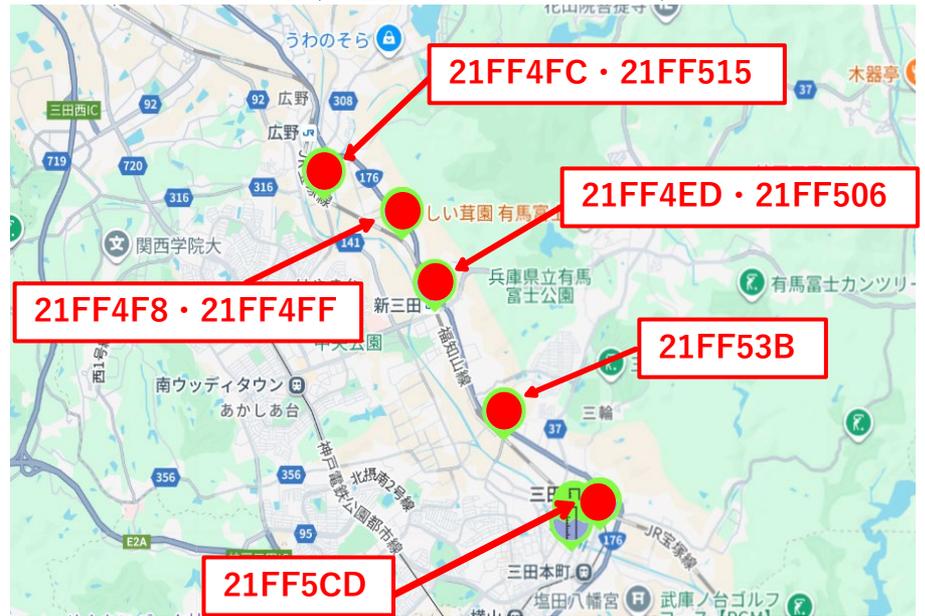
・ 浸水を検知したセンサのID

三田市川除：21FF53B
三田市東野上：21FF4F8 21FF4FF
三田市福島：21FF4ED 21FF506
三田市下井沢：21FF4FC 21FF515
三田市駅前町：21FF5CD

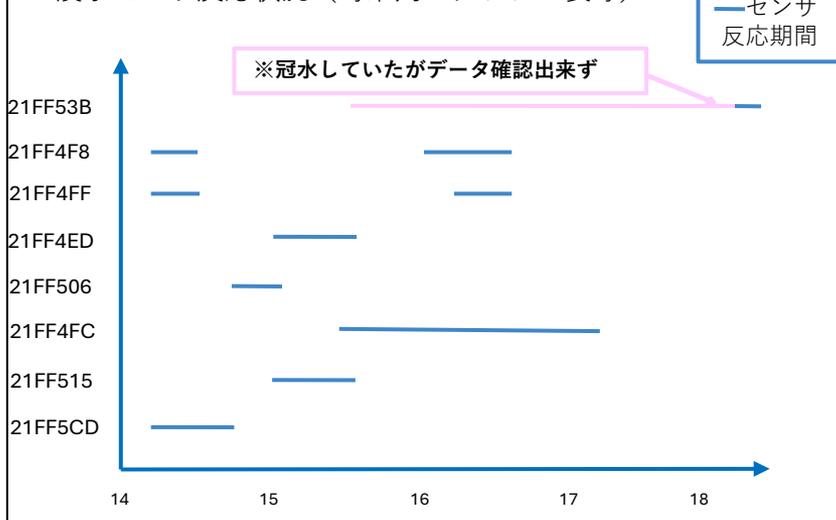
・ センサ情報の活用事例

- ① センサ情報を元に水防対応を検討する一つの参考とした。
- ② 浸水箇所の現地確認後、冠水状況を認知し、通行止めを実施。

< 浸水センサ反応状況（位置図、表示システム画面） >



< 浸水センサ反応状況（時系列のグラフ・表等） >



< 浸水時の補足情報（写真、SNS等） >



出水時での浸水センサ活用事例

設置管理者：滋賀県野洲市

< 出水イベントの概要 >

- ・ 浸水発生の日時：2025年6月11日 00:27～00:57
- ・ 浸水の原因となった事象
梅雨前線による大雨
累計雨量：124mm、時間最多雨量：22mm（野洲市小篠原地先 観測所）
大雨警報（土砂災害）発令：2025年6月10日23:28～6月11日06:07

・ 社会的影響

当該浸水センサを設置した箇所は、普通河川間宮川が住宅地内を通過する区間であり、河川水路から溢水が生じた場合、すぐに家屋への影響が発生してしまう条件にある。

今回の降雨でセンサの反応があったが、増水のみで水路からの溢水は発生せず住宅地への影響はなかった。

- ・ 浸水を検知したセンサのID：2521012005（普通河川間宮川 アーム部分）

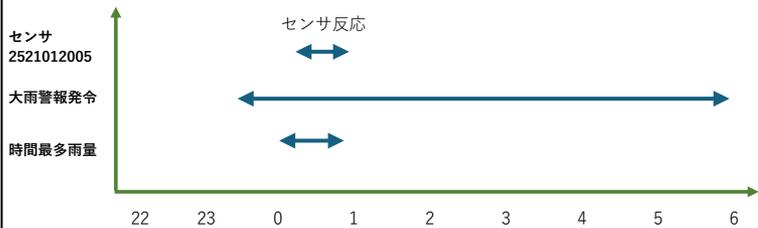
・ センサ情報の活用事例

現地パトロールを行い増水状況を確認し、水防待機職員で情報共有することにより、降水が継続・増加して溢水が生じた場合、迅速な現場対応が取れるよう体制を整えた。

< 浸水センサ反応状況（位置図、表示システム画面） >



< 浸水センサ反応状況（時系列のグラフ・表等） >

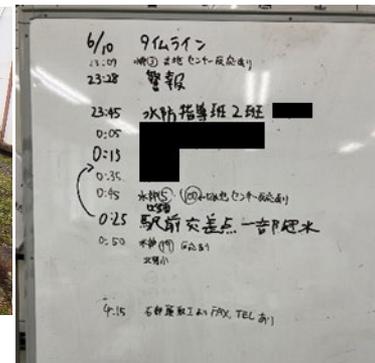


< 浸水時の補足情報（写真、SNS等） >

【現地状況】



【水防職員間の情報共有】



浸水センサ2521012005
滋賀県野洲市比留田 地先
普通河川間宮川アーム水路壁面に設置